

看護部「がん領域で働く専門・認定看護師の活動をご紹介します」



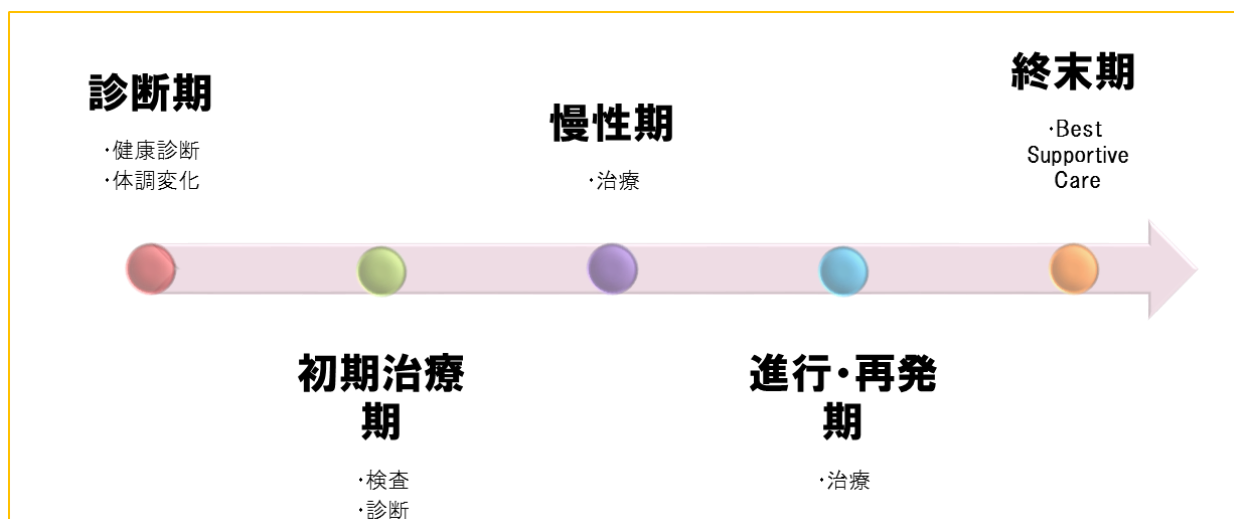
当院がん専門・認定看護師

がん看護専門看護師・緩和ケア認定看護師

がん性疼痛看護認定看護師・がん化学療法看護認定看護師



がん治療のプロセス



■診断期：告知・同席面談

がん告知・再発転移告知の診療に同席その後の精神的支援、治療方針決定の診療に同席意思決定支援、不安や恐怖が強いときの精神的支援（診療同席又は病棟チームからのコンサルテーションにより患者訪問面談）を多職種連携をしながら行っています。
（必要に応じて医師と協働し診療報酬を算定しています）

■診断期から終末期：緩和ケアチーム（医師 看護師 薬剤師 栄養士 理学療法士）

当院に入院中の方で、がんに伴う辛い症状がある方に対して、主治医から依頼を受け主治医と共にがんの辛い症状を和らげる治療を行ないます。

- ・不安・恐怖が大きい患者さんやご家族のケアのアドバイス
- ・症状アセスメントのアドバイス
- ・療養場所の検討のアドバイス

■初期治療期から進行・再発期：通院治療室



通院治療室では、がん告知後、手術補助療法の治療段階から進行・再発の症状緩和・維持までの抗がん剤投与を実施しています。投与中は、常に看護師が寄り添い、投与管理だけでなく、セルフケア指導や副作用対策・生活のアドバイスなどを実施しています。また、薬剤師や栄養士など他職種で連携し、それぞれの専門性を生かし、通院治療中の患者をサポートしています。



■終末期：緩和ケア病棟



- ・当院の緩和ケア病棟は全 13 床です。部屋の種類としては、個室、2 人部屋、4 人部屋があり、共有スペースには、ミニキッチン・デイルーム・ラウンジ・家族控え室を備えています。

以下のことを理念として掲げ、苦痛症状の緩和 日常生活の援助 家族ケアを行っています。

理念：『がんの治療ではなく、がんの進行などに伴う体や心の辛さに対する専門的な緩和ケアを提供し、患者の生命が終りを迎える時まで患者とその家族を支える医療とケアを提供する。』

『がん治療中や治療終了に関わらず生活に影響を及ぼす強い身体的精神的な苦痛がある時には、短期入院で苦痛の緩和をはかり、社会生活に復帰できるよう医療とケアを提供する。』

『専門職に非専門職を加えた多職種によるチームアプローチを行い、患者とその家族の Quality Of Life(QOL)の向上を目的とした全人的ケアを提供する。』



大森赤十字病院

日本赤十字社

赤十字は、動いてる! 日本赤十字社